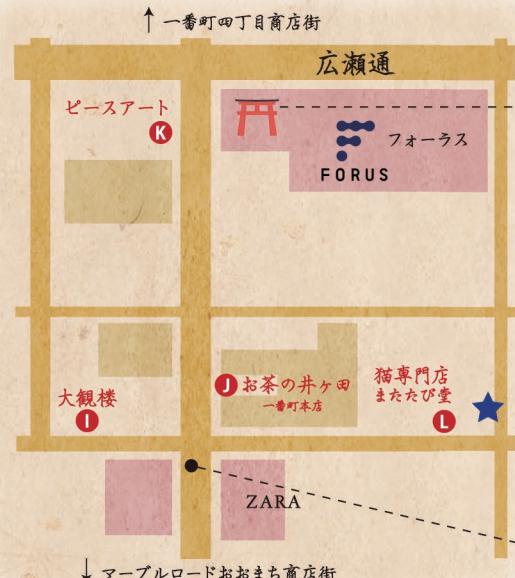


ぶらんど～む一番町商店街



「ぶらんど～む一番町商店街にやってまいりました。といえば、昨年の竜神様の願いは、ここから西へ行った『芭蕉の辻』へ行くことでした」

『芭蕉の辻』の名前の由来の一つが、政宗様の間諜として働いた虚無僧が住んでいて、その名前が『芭蕉』であったと。今こうしてわたくしが政宗様と行動を共にしているのも、何かの縁でございましょうか」「さて、ここでの手掛かりは……大通りからは少し離れた場所にあるようです。しっかりと地図を確認して、目的の場所に向かうとしましょう」



和靈神社



ぶらんど～む一番町商店街内の仙台フォーラス屋上に鎮座しています。祭神である山家清兵衛(やんべせいべえ)は米沢の生まれで、伊達政宗公の長男で宇和島藩主・伊達秀宗公の家老職として手腕を發揮しました。その子孫である山家豊三郎は、明治に入り没落した士族の町を自分の屋敷に祀つていた和靈神社とともに商人の町へと再生に導き、現在の一番町にある商店街の礎を築きました。

支倉時計

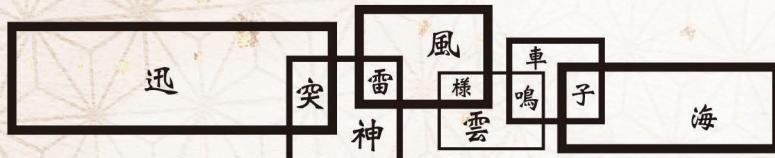


慶長遣欧使節団を率いてヨーロッパへ渡航した支倉常長がローマ法王に謁見した場面やサンファンパウティスタ号を銅像にした時計塔が2基建っています。当時滞在したスペインの町「コリア・デル・オリオ」に使節団の一員が生活し始めたのがきっかけで、この地には日本を意味するハポン(JAPON)という姓を持つスペイン人が暮らしているそうです。

エモドナル五世

ぶらんど～む一番町商店街の公式マスコットキャラクターであり、歴史と未来を見つめる時の使者です。伊達政宗公の時代から一番町に生息していたらしい謎の生物の子孫で、東北を代表するファッショントリニティボーイ。ジャケットスタイルの伊達者(だもの)です。商店街内に偶に出没するので見かけたら一緒に写真を撮ってみよう。

たてもの
建物の入り口の上にある图形を見よ。
くろ
黒い部分にある文字をつなげてできる言葉の読みを答えよ。



こたえ

一番町四丁目商店街



「畠でございます! 今年はこちら、一番町四丁目商店街を担当することになりました。私はくのいちゅえ、密は密でも『隠密』で行動しようと思います」

「こちらの商店街、たくさんの飲食店にももちろん心惹かれるのですが、洋服やかばん、宝飾品などを扱うお店も数多くあるのです」

「私、普段は着物を着る機会も多いので、こういったお店があるとありがたいです」

「さて、目的の場所に到着いたしました。こちらの目印は『笑顔』。私も今は顔を隠しておりますが、笑顔は忘れずにいたいものです!」



光のページェント発祥の木



杜の都を象徴する定禪寺通りは、冬季になると光のイルミネーションの灯りに包まれる「SENDAI光のページェント」の会場になります。その発祥は一番町四丁目商店街と定禪寺通りがT字に接する場所に植えられている「もみの木」が原点と言われています。

金蛇水神社 一番町分霊社

金蛇水神社(宮城県岩沼市)の分霊社で商売繁盛、金運満のご利益があると言われています。手水舎には古くからお金や商売の神様として祀られてきた蛇の模様が浮き出た不思議な石(蛇紋石)があり、この石をなでると金運が上がると言われています。



東一市場



一番町四丁目商店街の東側に位置する一条通り・二条通り・三越通りの3本の細い路地からなる横丁です。戦後のパラック作りの市場が起源で、飲食店をはじめ玩具店、ペットショップ、お香専門店など個性的な店舗が建ち並んでいます。運が良いとここで暮らす2匹の猫と遭遇できるかも。

よ	る	で	す	か
ふ	な	あ	ま	み

こたえ

12 4